

株式会社世田谷サービス公社における令和3年度事業について

1 事業計画

(1) 雇用

区民ニーズに応える良質な公共サービスの提供を通して、障害者・高齢者・女性・世田谷区民を積極的に雇用し、勤労の機会と生きがいの場を提供する。

障害者雇用については、令和元年度に策定した「障害者雇用推進計画-（2020年度～2022年度）」に基づき、雇用の拡大とともに「雇用の質」に重点を置いて進める。

(2) 区内企業との連携

区内の中小企業の安定と発展を図り、世田谷区の産業振興に寄与するため、地域に根ざした企業活動を実践する。また、区内事業者と連携し、区の政策方針に沿った新規事業の開発・獲得に取り組む。

(3) 社会貢献事業

『経営基本方針2020』における「社会貢献方針」に基づき、「事業展開による貢献」「利益の還元による貢献」「社員の実践による貢献」の3つの柱により社会貢献活動を行っていく。

(4) 危機管理・情報提供

令和元年10月に発生した台風19号により大きな被害を受けたことから、エフエム世田谷では、緊急時の災害・防災情報提供の充実が課題となり、放送体制の強化を図っている。令和3年3月には世田谷区との「災害時等における協力態勢に関する協定（2012年7月締結）」自体を変更し、大規模災害発生時等において帰宅困難者支援施設の開設・運営や、物資集積所での物資の仕分けに加えて、避難所（水害時避難所含む）の開設運営について区の要請に基づき協力する態勢としている。

災害発生時には、被害状況や公共交通機関の運行状況などの情報収集手段として、スマートフォン等の携帯端末が有用なことから、通信事業者と協力して、区民会館、区民センター等にWi-Fiスポットを提供する。

(5) 施設維持管理等事業

公共施設の適正な管理運営に努め、常に安全・安心に利用できる快適な空間を提供する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常の清掃に加え、コンタクトポイントを中心に施設の消毒を実施するとともに、新型コロナウイルスのワクチン接種会場となる管理施設においては、世田谷区と協力し、安全で円滑な施設運営を行っていく。区民センターにおいては、地域コミュニティの醸成に貢献するため、運営協議会の事務局として地域活動のサポートを行っていく。

(6) 飲食事業

新型コロナウイルス禍の影響が長引くことが予想されるなか、レストラン ル・ジャルダンでは婚礼プロデュース事業者の追加導入、宴会プランの充実、広告宣伝を含む広報の強化を図るなどして、令和2年度落ち込んだ来客者数の増加を目指す。

(7) ICT支援事業

若手人材の育成が急務になっており、継続的な運用サービスの提供はもとより更なるサービスレベルの向上に向け、ICT部門におけるキャリアパスに基づいた研修・教育を実施し、計画的な教育を進める。

今後もICT支援事業は、世田谷区情報システムを確実かつ安定した運用を提供していくために更なる運用体制を強化するとともに業務の効率化に取り組む。

(8) 障害者雇用推進事業

「障害者雇用推進計画-（2020年度～2022年度）」に基づき、様々な障害のある方の雇用及び公共的役割（就労訓練の場の提供）の推進を基本に、雇用者数の拡大とともに「雇用の質」に重点を置いた取組みを進める。

(9) エフエム世田谷放送事業

区民に「やさしい（83.4MHz）ラジオ」放送局として、「地域防災力の強化」と「コミュニティの醸成」に寄与するため、世田谷区と連携し、地域に密着したきめ細やかな生活・防災（災害）情報などを24時間365日、切れ目なく発信する。大地震や風水害など緊急時には、区民の安全・安心を確保できるようエフエム世田谷が、世田谷区災害対策本部に参集し、区の情報直接放送する体制を整備する。

2 収支計画

別紙「2021年度（第37期）収支・事業計画」のとおり。